
神戸常盤大学・ 神戸常盤大学短期大学部について

神戸常盤大学の沿革

神戸常盤大学短期大学部の沿革

本学の建学の精神

本学の組織

神戸常盤大学の沿革

2007年12月3日	神戸常盤大学設置認可（保健科学部：医療検査学科、看護学科）
同 年12月3日	看護学科 保健師・看護師養成指定学校として認可
同 年12月25日	看護学科 養護教諭一種免許状教員養成課程として認可
2008年1月31日	医療検査学科 臨床検査技師養成所として認可（厚生労働省）
2008年4月1日	神戸常盤大学開学
同 上	上田國寛 学長就任
2011年10月24日	教育学部こども教育学科 設置認可
2012年1月23日	こども教育学科 指定保育士養成施設として認可
2012年2月15日	こども教育学科 幼稚園教諭一種免許状・小学校教諭 一種免許状教員養成課程として認可
2012年1月30日	医療検査学科 臨床検査技師養成指定学校として認可（文部科学省）
2012年1月30日	看護学科 看護師養成指定学校・保健師養成指定学校（選択制）として認可
2012年4月1日	教育学部 こども教育学科開設
2017年4月1日	濱田道夫 学長就任
2019年7月2日	保健科学部 診療放射線学科 設置認可
2019年8月27日	診療放射線学科 診療放射線技師養成指定学校として認可（文部科学省）
2020年4月1日	保健科学部 診療放射線学科開設

神戸常盤大学短期大学部の沿革

1967年 1月23日	神戸常盤短期大学設置認可（幼児教育科・衛生技術科）
同 年 2月16日	幼児教育科、保母資格取得課程として指定（厚生省収児第66号指定）
同 年 3月27日	幼児教育科、教員養成課程として認可
同 年 4月 1日	旭 一美 学長就任
同 年 4月12日	衛生技術科、衛生検査技師養成学校として指定
同 年 5月12日	開学式挙行
1969年 3月15日	第一回卒業式挙行
1970年 4月 1日	附属幼稚園開園
1971年 4月 1日	衛生技術科専攻科設置
1974年 4月 1日	衛生技術科、臨床検査技師養成学校として指定
1976年 3月31日	衛生技術科（2年制）及び同専攻科廃止
同 年 4月 1日	幼児教育科及び衛生技術科（3年制）の定員変更（増員）認可
1983年 4月 1日	衛生技術科専攻科設置
1984年 4月 1日	幼児教育科専攻科設置
1986年 6月28日	光成俊彦 学長就任
1988年12月22日	教養科設置認可
1989年 4月 1日	教養科開設
1991年 4月 1日	教養科の期間を付した入学定員変更（増員80名→160名）
2000年 4月 1日	教養科の入学定員変更（臨時定員160名→恒常定員140名）
2000年12月21日	看護学科設置認可
2001年 4月 1日	看護学科開設
2002年 7月30日	健康文化学科設置認可
2003年 4月 1日	健康文化学科開設（教養科募集停止）
2004年 3月31日	教養科廃止
2005年 4月 1日	看護学科通信制課程開設
2006年 4月 1日	上田國寛 学長就任
2006年 9月30日	衛生技術科専攻科、幼児教育科専攻科廃止

2007年7月30日	口腔保健学科設置認可
同 年12月3日	口腔保健学科、歯科衛生士養成指定学校として認可
2008年4月1日	神戸常盤大学短期大学部に学校名称変更
同 上	幼児教育科を幼児教育学科に名称変更及び入学定員変更（80名→90名）
同 上	口腔保健学科開設（衛生技術科、看護学科及び健康文化学科募集停止）
2009年3月31日	健康文化学科廃止
2010年3月31日	衛生技術科、看護学科廃止
2012年4月1日	幼児教育学科 募集停止
2013年3月31日	幼児教育学科 廃止
2017年4月1日	濱田道夫 学長就任

神戸常盤大学の建学の精神

広く学術の基礎となる知識及び技能を授けるとともに、深く専門の学問及び技術を研究・教授して、知的、道徳的に優れた技術者を育成し、また成果を社会に還元することにより、国家及び地域社会の発展に寄与すること。

神戸常盤大学短期大学部の建学の精神

学問と実践、研究と技術を直結することによって、すぐれた職業人、生活にすぐれた能力をもつ有為の人材を養成し、社会的、地域的要請に応えんとするものであること。

本学の組織

大学は性格の異なった特色のある3つの学科（医療検査学科・診療放射線学科・看護学科）の保健科学部、こども教育学科の教育学部で構成されています。

また、短期大学部は口腔保健学科で構成されています。

皆さんは、各学科において専門の学芸を学び、職業または社会生活に必要な能力を身につけるとともに、幅広い教養や総合的な判断力を養い、豊かな人間性を育むよう努めてください。

本学は、教職員と皆さん一人ひとりとのふれあいを大切に考えています。これらのふれあいはあなた方の目的達成に大きな力となるでしょう。一日も早く本学の学生生活に慣れ、自主的かつ積極的に教職員とも交わり、知識や経験を深めていてもらいたいと思います。

さて、皆さんにとって関係の深い本学の組織、機構について説明しましょう。

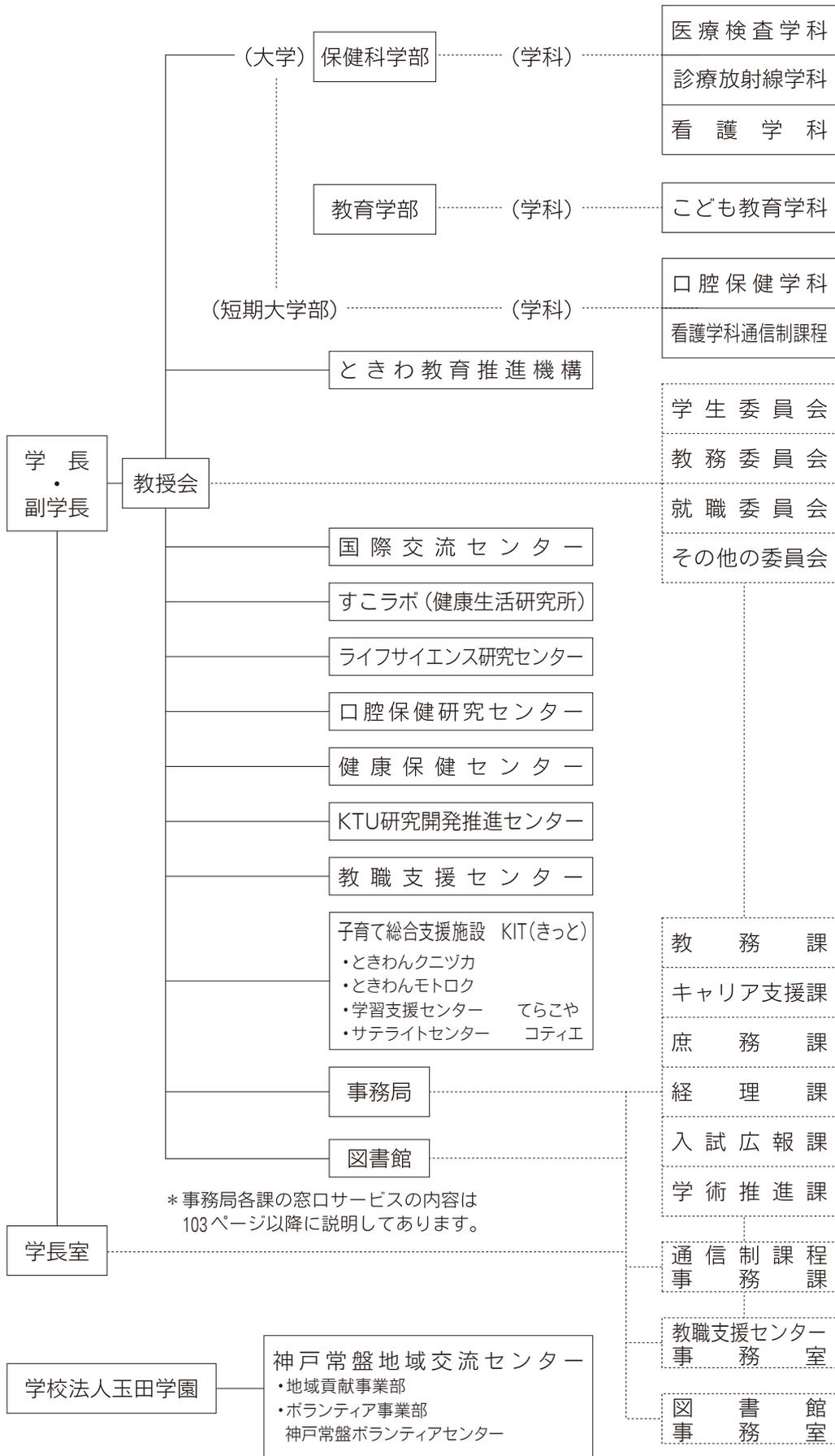
本学のスタッフは、授業や研究を行う教員スタッフ（専任・非常勤）と教育研究の実があがるように様々な事務的業務を行う事務局スタッフとに分かれます。

【スタッフ】

- 教員 — 授業・研究・大学運営に携わり、学生生活への指導・助言などを行う。
- 事務局職員 — 各種事務処理や教育研究環境の整備など大学の管理・運営に携わる。
学生生活への援助・助言などを行う。（窓口サービス）

教員で構成される教授会は、大学を運営していくために、いろいろな問題を審議します。この教授会の下にいくつかの委員会がありますが、皆さんに最も関係の深いのは、学生委員会・教務委員会及び就職委員会です。いずれの委員会も教員と事務局職員とで構成されています。組織図とこれら委員会の役割を次表に簡単に記しておきます。

【組織】



- 学生委員会

学生生活の充実をはかるための方法を検討し、実行する組織です。特に教育環境、課外活動（学生自治会活動・クラブ活動など）に関する問題を取扱います。

- 教務委員会

カリキュラムの策定、授業や試験時間割の作成、授業に関する履修状況、卒業や進級にかかわる成績の管理など学修上の種々の問題を取扱います。

- 就職委員会

学生の就職に関して、求人票等を収集し、学生の就職に関して支援を行います。

- クラス担任

各クラスには1～2人の担任がいます。勉学をはじめ、将来の進路、クラスのことなど学生生活全般にわたって困ったことや分からないことがあれば必ず相談してください。(113 ページ参照)